

## 中部電力グループ調達基本方針

### 1 オープン・ドア・ポリシーに基づく調達

国内の企業はもとより、広く海外の企業ともオープン・ドア・ポリシーに基づいて、優れた技術を有し良好なサービスを提供できる企業と取引をおこないます

### 2 公平・公正な調達

資機材などの調達にあたっては、その価格、品質、性能、安全性、納期・工期の確実性およびアフターサービスに加え、お取引先の技術力、生産能力、経営状態、安全管理体制、企業の社会的責任（CSR）への取組姿勢などを総合的に勘案し、経済的合理性に基づいて公平、公正におこないます

### 3 パートナーシップの構築

- (1) お取引先の皆さまを、相互発展を目指す大切なパートナーと考えています
- (2) パートナーである皆さまとのコミュニケーションや公正かつ誠実な取引、適切な価格交渉・価格転嫁を通じて、より確かな信頼関係の醸成に努めるとともに、協同してサプライチェーン全体の共存共栄を目指します

### 4 コンプライアンスの徹底

- (1) 国内外の法令、ルール、社会規範および企業倫理などを遵守するとともに、贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組みます
- (2) 個人・機密情報の厳正な管理、知的財産権の保護などに十分配慮します

### 5 人権の尊重

人権（児童労働・強制労働の禁止、不当な差別の排除など含む）および労働者の権利（結社の自由・団体交渉権、適切な賃金の支払など）を尊重します

### 6 安全・健康への配慮

「安全はすべてに優先する」の考えに基づき、労働災害の防止と公衆保安・衛生の確保、健康増進に配慮した取り組みをおこないます

### 7 環境への配慮

お取引先の皆さまとの協力関係のもと、脱炭素社会・自然共生社会・循環型社会を目指し、環境に配慮した調達活動をおこないます

### 8 リスクマネジメントの徹底

- (1) 調達活動におけるリスクを把握・評価し、適切な対策を実施します
- (2) 重大リスクが顕在化した場合には、迅速かつ的確な対応を実施します